

AX-2008寒天印象材溶解攪拌機

取扱説明書

製品説明：

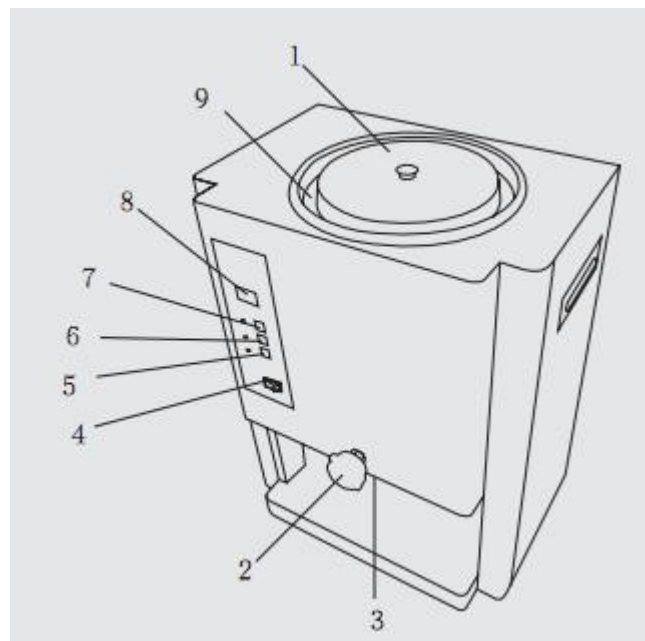
本寒天コンディショナーは、歯科技工所において複製用ゲルを溶融・混合するために使用されるもので、鑄造工程における型複製に不可欠な装置です。本機はスペインの技術者の協力を得て開発され、現時点で世界最先端の寒天コンディショナーです。コンピュータ制御のデジタル制御機能を備えており、最大の利点は、複製用ゲルの均一な加熱を保証する水加熱システムにあります。また、過熱による焦げ付きも防ぐことができます。水とタンクの接触面積が広いため、複製用ゲルを均一に加熱することができます。水の熱容量が高いため、低温時でも優れた保温効率を発揮し、自動適応型搅拌ブレードにより、ゲルをより徹底的かつ効率的に混合することが可能です。ゲル吐出口の保温設計により、ゲルがよりスムーズに排出されます。

仕様：

電圧	220V / 110V 50Hz / 60Hz ±10%
モーター回転数	40rpm
加熱出力	800W × 2
寒天材料容量	3kg～5kg
重量	31kg
外形寸法	44×36×61 (cm)

図：

1. 蓋
2. 排出バルブ
3. 出口
4. 電源スイッチ
5. タイマーボタン
6. 保温ボタン
7. 加熱ボタン
8. 温度インジケーター
9. 貯水タンク



取扱説明書：

1. 梱包を開封し、付属品がすべて揃っているか確認してください。本機を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。
2. 本機をコンセントに接続すると、電源インジケータが点灯します。電源を入れると、温度インジケータにタンク内の現在の温度が表示されます。水タンク内の水量が不足している場合、水不足アラームが作動します。
3. 水を補充するには、まず蓋を開け、貯水タンクに水を入れます。水位は水位マークより下にしてください。水を入れすぎると、加熱時に水が溢れる恐れがあります。水タンクに水がない場合は、本機を使用しないでください。水位が水位センサーより低い場合、アラームが鳴り、本機は加熱を開始しません。水位センサーは水タンク内にあり、水タンクの開口部から10cm下にあります。蒸留水は電気を通さないため、本機が作動しなくなりますので、絶対に使用しないでください。
4. 寒天材料を追加するには、まず内蓋を開け、タンクに寒天材料を入れます（ゲルは1cm³の大きさに小さく切ってください）。
5. 加熱および保温：加熱／停止ボタンを押すと、加熱インジケータが点灯し、本体が加熱を開始します。温度は最高温度まで上昇した後、保温温度まで下がります。保温温度に達すると、加熱インジケータが消灯し、保温インジケータが点灯します。その後、温度に応じて攪拌が開始・停止します。加熱中にこのボタンを押すと加熱が停止し、加熱インジケータが消灯します。
6. 手動保温：いつでも「保温」ボタンを押すと、「保温」インジケータが点灯し、本機は保温を開始します。このボタンをもう一度押すと、保温モードを終了します。
7. 注出口：バルブを回して、ゲルが注出口から出てくるようにしてください。注出口を塞いでいる固まったゲルがある場合は、取り除いてください。

注意事項：

1. 本機は電気加熱装置であり、複製用ゲルは非常に高温になることがあります。取り扱いには十分注意し、火傷に注意してください。
2. 操作プロセス全体を通じて必要なボタンは「加熱／停止」ボタンのみです。
3. 操作前に、図解をよく読み、各ボタンの機能を理解してください。
4. タンク内に固まった複製用ゲルが残っている場合は、攪拌を開始しないでください。本機を起動する前に、ゲルを取り出し、小さく切り分けてください。少量の水を加えても構いません。
5. 本機の電源を入れる前に、水タンクに水が入っていることを確認してください。タンクに水がない状態で加熱を開始しないでください。そうしないと、モーターが焼損する恐れがあります。水位が水位センサーより低い場合、本機は加熱を開始しません。時間が経つとセンサーが汚れることがありますので、きれいに拭き取ってください。センサーは直径5mmのステンレス製の棒状のもので、タンクの外壁に固定されており、内槽と外槽の間にあります。2つのセンサーは、タンクの開口部からそれぞれ10cmおよび25cm下の位置に設置されています。
6. ユーザーは、使用するゲルの種類に応じて、最高温度と保温温度を調整できます。温度の調整は、パネルの「見えないボタン」で行います。このボタンは、前面パネルの3番目のボタンの左下隅、2色のボタンの間にあります。
 - 1) 調整ボタンを押すと、3つのインジケーターが点灯し、調整モードに入ります。
 - 2) ディスプレイには最高温度（89℃）が表示されます。
 - 3) 調整ボタンをもう一度押すと、ディスプレイに保温温度（49℃）が表示され、さらに押すと保温モードの加熱時間が表示されます。
 - 4) 調整ボタンを押すと、これら3つの数値が順次表示されます。
 - 5) 調整モードでは：
 - a) 1番目のボタンを押して最高温度を調整します：85～99℃（初期設定99℃）。1回押すごとに1℃ずつ上昇し、85℃から99℃の間で値が切り替わります。
 - b) 2番目のボタンを押して保温温度を調整します：38～85℃（初期設定53℃）
 - c) 3番目のボタンを押すとミキサーとファンが起動し、もう一度押すと停止します。
 - 6) 「停止」ボタンを5秒以上長押しすると、調整モードを終了します。調整した値は本機のメモリに保存されます。

- 7) 本機が適切に加熱または保温できない場合は、最高温度と保温温度を確認してください。
- 8) 本体の左側には、テスト用の金属ボタンがあります。水タンク内に水が入っているにもかかわらず加熱が始まらない場合は、このボタンを押して、本体が熱を発生できるかどうかを確認してください。熱が発生する場合は、水位センサーに問題がある可能性があります。錆びている可能性がありますので、拭き取って問題を解消してください。
- 9) 加熱インジケータは、筐体内の2本の加熱管の横にあります。加熱管が正常に動作していれば、インジケータが点灯します。

付属品：

取扱説明書	1PC
電源コード	1PC
ヒューズチューブ (15A)	2PC

連絡先
kdashika.jp@gmail.com
URL:<https://www.kdashika.jp/>